



森町を語る会のようす (文化会館小ホール)



# 森町を語る会 新たな時代に向けたたまちづり

## 2022

■問い合わせ先

役場企画財政課広報統計係

☎05-63606

令和4年度町の広聴事業「森町を語る会」は、テーマを「七夕豪雨以来の大きな被害をもたらした台風15号を振り返って」とし、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、出席者を町内会長に限定して2回に分けて12月に開催しました。その概要を紹介します。

### 台風15号をテーマに 住民らと意見交換

はじめに、防災監が台風15号の概要と被災状況、台風に対する町の対応や今後の課題等についてスライドを交えて報告をしました。意見交換では、各町内会長さんから、実際に被害に遭われて、あるいは被害を目的の当りにしての現実味のある発言をいただき、有意義な時間となりました。



12月14日開催  
三倉・天方・森地区  
参加者35名  
文化会館小ホール

向天方下町内会



新沢川の崩れたところ、お寺の近くの防護柵が壊れたところはいつ直るのかとよく聞かれる。被害があった場所については、いつ頃改修されるかが分かると住民も安心できるかと思う。町では、工事箇所を順序付けしていると聞いた。いつ頃対応できるかを町のホームページに掲載していただきたい。それから、太田川の橋脚に、現在も流木が絡みついている。こちらの対応の見通しについても情報提供してほしい。





被害状況、復旧状況について、県道・町道・林道等の通行止めの情報はホームページに掲載させていただきましたが、全ての情報を掲載していくのはなかなか難しいと思っています。担当課に問い合わせしていただければ、的確に状況を説明します。太田川の流木除去については、県の方でも危険度が高いものから除去していると思うので、そのような情報を掲載できるようにすれば、今後は公表をしていきます。

町長

亀久保町内会



太田川ダムから流れてくる水が非常に濁っている。一体いつまで続くのか教えてほしい。また、出水の時に流れ出たと思われる青色ナイロンやプラごみについても、どこから流れてきたものか明確にしてほしい。それから、道路に石が落ちているところが結構ある。早急に対応していただきたい。

町長

太田川ダムに関する濁水対策は、県が実施するわけですが、これまで効果のある対策が実施されていないのが現状です。今回の雨で、ダムの中にも濁水がたくさん溜まっているので、鮎の解禁時期までにはきれいにしても



らいたいという要望も出ています。町としては県に重ねて要望していきます。それから、河川のゴミについても県に対して要望はしており、現在、県と町で協議を進めているところです。もう少し時間がかかると思います。道路の落石等については、道路パトロールをしながら危険があるものについて除去するように努めています。

西俣町内会

台風が来たのは秋分の日の祝日だった。災害はいつ起きるか分からない。役場の閉庁時について教えてほしい。それから、年寄りが多い地域にはもっと早く情報を伝えてほしい。

防災監



職員用の災害対応初動マニュアルというものが、これに基づき各職員が参集しています。今回は大雨警報の発令に伴い、防災課職員を参集。雨の状況や降水量等の情報収集を行い、総合的に判断して災害警戒本部を設置し、各課長と本部役員を参集しました。事業課を中心に電話が集中し、対応を待たせてしまったことについて今後は改善していきたいと考えています。

町長

森町には同報無線の戸別受信機という伝達手段があるので、緊急性のあるものについては同報無線を使い、随時更新しなければいけない

ようなものはホームページにて、確実に情報をお届けしたいと考えています。また、情報をとりまとめた臨時の回覧を発行するというのも手段の一つだと思えます。



三倉大久保町内会



大久保で腎臓病の方がいて、週3日透析をしている。県道袋井春野線が通行止めとなり、透析の送迎車が通れなかった。結果的には春野線由で、二俣まで行き、その方を病院まで運ぶことができた。今後、このような方への対応について検討をしてもらいたい。



## 薄場町内会

被害状況の連絡が錯綜したようだが、今後どのような対応をするのか聞かせてほしい。



## 防災監

情報の収集と通報に対する対応ですが、基本的には全庁で協力体制をとり、必要なところに応援職員を配置して、情報を整理していきたいと考えています。



## 川向町内会



床下浸水が20件、床上浸水が2件だった。確認はないが、城下三軒家のところにある水門が開いていた。誰が閉めて誰が開けているのかが分かると助かる。それから、瀬入川と太田川の出会いのところが大きく崩れた。何か工夫できないかと思う。



## 町長

ご指摘がありました水門の開閉については、誰がどういう時にやるのかという決

め事があると思うので、聞き取りをしながら、体制を作っていくと思います。瀬入川と太田川の合流点の改良

については、県も把握していると聞いていますが、さらに根本的に解決する方法について要望していきます。

## 乙丸町内会



三倉川のブロック護岸には、私知知っているだけで6か所以上決壊があった。ブロック自体も老朽化していることも考えられるので、大型ブロックなど強固なものに変更していただきたい。それから、よく報道等でダムの水が溜まり過ぎると緊急放流するということを知りたく。今回はそういう状態にならなかったのか教えてほしい。

## 町長

護岸は隙間ができて、その裏に水が回ってしまったという状況かと思えます。七夕豪雨で河川改修はされましたが、年数も経っていますので県に対して点検をしてもらうように要望していきます。それから、ダムの件ですが、事前放流をしたとは聞いていません。県に確認しますが、大雨前までにそんなに水が溜まっていなかったということだと思えます。

## 向天方上町内会



被災時にSNSは効果的で、ボランティアを募集するのに一番迅速な手段。このような対策はしたか。山間部と平坦なところでは被災の種

類が異なる。マニュアルを作っても通用しない部分もあると思うので、部署ごとに考えていただきたい。それから、防災倉庫にはどんなものがあるか実際に内容を知っておくことが重要。一覧表を見せるだけでなく、実物を見せることをやっていただきたい。

## 防災監

ボランティアについては、社会福祉協議会が窓口になっています。町内を回ってみて、ボランティアが必要ないところを実際に歩き、必要なところにボランティアが入ったと聞いています。他市町のようにボランティアセンターを開いて募集することを今後は考えていく必要があるかと思えます。防災倉庫には、約5,000人の避難者を想定した3日間の食料などを配備しています。今後は、町内会長さんが集まる場において、どういう形で防災倉庫の内容を確認していただくかを考えていきます。





三倉町内会

三倉総合センターの避難所を開設したのは何時か。また、旧三倉小学校の体育館にも防災倉庫があり、橋を渡らないとたどりつけない。今回の雨だと、校庭まで水が入ってしまい、倉庫に入っているものを運び出すことができない。どちらの避難所を主にした方が良いか。



防災監

三倉総合センターは、夜11時に開設しました。三倉地区の避難所は旧三倉小学校と三倉総合センターの両方を指定しています。町の考えとしては、地震の場合は小学校を、大雨の場合は総合センターを避難所として考えています。

草ヶ谷町内会



「グループホームたんより」という施設がある。台風

12月16日開催  
一宮・園田・飯田地区  
参加者21名  
文化会館小ホール

町長

15号の前の7月の豪雨でも床上浸水し、今回も町内会と防災委員が夜中の3時半頃まで対応した。大水対策として、河川下流のたまっている土砂の対策を考えていただきたい。

河川の土砂をあらかじめ取り除いておけば、もっと流れも良かっただろうし、山崩れがあつて川があふれて床上浸水、半壊というような被害に至った事例もあるので、山の保全にも努めなければいけないと思っています。河川の浚渫は、町の管理する河川については町が引き続き実施し、県に対しても実施を要望していきます。



城北町内会



町全体の被災状況について、現在何%ぐらいが復旧されていて、今後どれぐらいの期間で修復できるかについて教えてほしい。

防災監

被災件数は、道路・河川だけで300か所以上あり、10月末時点で未対応が140か所あります。それから1か月ちよつと経つので、現在は3分の2ぐらいが進捗していると思います。国の補助を受ける事業については、災害査定後に工事を発注する予定としており、早くても来年以降になると思われます。

片瀬町内会

片瀬橋周辺は、川よりも低い住宅が多く、避難の呼び掛け・判断に困った。地区防災会と町の本部の連携が必要だと思う。橋脚に危険水位とか警戒水位という表示があると説得力があると思うので設置をお願いしたい。それから、災害発生の町への報告については、窓口を一本化してほしい。

町長



自主防災会と町の対策本部との連携については、年2回、9月と12月の防災訓練時に実施していきたいと考えています。インフラ整備は七夕豪雨の被害を契機に進みましたが、今一度、老朽化



のチェックをしていく必要があります。ありますので、県管理のものについては県に対して要請していかねければならないと思っています。窓口の一本化については、被災直後とある程度時間が経った後では状況が異なります。被災直後では、窓口を一本化するという必要性を感じていますが、ある程度時間が経過した後は、それぞれの担当課に対して報告していただくのがスムーズと考えます。

### 防災監

片瀬橋の橋脚に危険水位の表示をという件ですが、小規模河川については河川を解析し、危険水位がどこであるかを調査する必要があります。ご意見としてうかがっております。



### 中飯田町内会

飯田郵便局前の県道58号線は、雨がもう1時間も続くと車が立ち往生する状態だった。バリケード等を設置して、道路の通行を制限する対応はできないか。



### 町長

県道は袋井土木事務所が管理しています。被災時には町と県がお互いに情報交換をしながら、素早い対応ができるように努めていきます。

### 宮代西町内会



一宮川の護岸で、堤防の決壊や崩落等があったが、出水期の5月から10月頃までは工事ができないと聞いています。分かっていたら教えてほしい。

### 防災監

河川の工事ですが、5・6月頃の出水期は原則として河川工事を控えるということになっていきます。工事が始まる前には、町内会に連絡が入ると思います。

### 下飯田町内会

台風の影響で、山梨用水に土砂が堆積したので浚渫してもらいたい。受益を受け

ているのは袋井市が9割、森町が1割。袋井市とは、現在どのような話になっているか。また、いつ頃から浚渫作業が始まるか教えてほしい。



### 防災監

山梨用水につきましては、産業課から袋井市に確認を行い、袋井市ではできないので、森町の方でお願いしたいという返事があったと聞いています。産業課では、すでに段取りに入っているということですが、業者も他の工事を優先しているため、手がつけられない状況だと思われる。作業の開始時期が決定次第、町内会長さんにお伝えします。

町内会長さんには、ご出席をいただき、ありがとうございました。  
いただいたご意見を参考に、今後の災害対応や防災対策の見直しに繋げていきたいと考えています。  
また、現在の対応状況や今後の見通しにつきましては、広報もりまちで取り上げ、掲載していく予定です。